

高齢化や人手不足が問題となっている昨今。津奈木町でも、4人に1人は75歳以上という超高齢社会を迎えています。今後、さらに労働人口が減少することが予想され、働く意欲のある高齢者が年齢に関係なく能力や経験を生かして生涯現役で活躍し続けることが求められます。松山事務局長は「人が一番の財産です。会員が減っていくのは、組織の根幹が揺るがされます。会員を増やして、組織を強化していきたい。地域に貢献し、会員に生きがいを提供できる、社会に

超高齢社会での役割

「持ちつ持たれつ」の地域づくり
高齢化が進む地域で、気軽に仕事を依頼できるシルバー人材センターは頼もしい存在です。今日もまちのどこかで地域のために活動します。

役立つ組織にしていきたい。就業形態を増やし、仕事の幅を広げていきたい。会員が一人でも二人でも増えれば、人も組織も幸せになれると思います」と話します。

あなたの力が
必要とされています

多くの場面で、私たちの生活を支えてくれているシルバー人材センターの皆さん。生涯現役、人生100年時代と言われる昨今だからこそ、同センターの可能性は計り知れません。豊富な経験や知識、技能を地域のために生かしてみませんか。仕事を通して「健康づくり」「生きがいづくり」に取り組みましょう。



仕事を依頼したい

まずはシルバー人材センターへ申し込んでください。会員が派遣先の指揮命令を受けて就労する「派遣事業」も企業などを対象として行われています。

①シルバー人材センターへ電話などで申し込む

②担当者の仕事の内容・条件・代金を相談

③センターから依頼を受けた会員が仕事を遂行

④センターに代金を振り込む

申込先

(公社) 水俣・津奈木シルバー人材センター 〒867-0062 熊本県水俣市築地9番 38 号
☎0966-62-1122 FAX 0966-62-1123

会員になって活躍したい

▶対象

60 歳以上の津奈木町・水俣市に住んでいる人
※仕事をしている人でも会員になれます。

▶入会方法

入会申込書を提出後、月に1度ある新人会員研修を受講してください。

▶年会費

2,000 円（入会する月で変わります）

▶収入

一定の収入（配分金）の金額保証はありません。仕事内容と就業日数で変わります。



浦口 勝也 さん
(浜崎)

シルバーで働くことは
生きる活力になる

「家にいるよりも外で何かしたい」との思いで、2年前に入会しました。主に療養介護施設と病院間の送迎運転手を務めています。送迎用の福祉車両の運転は初めてでしたが、シルバー人材センターが主催する運転者講習会を受け、必要な知識や技能を学ぶことができました。

ただ外に出て歩くだけでなく、責任を持って仕事をすることに意味があるので、できるだけ長く続けたいです。「人生100年時代」と言われるようになり、人々の意識や社会のあり方が変わり始めています。無理をし過ぎず、自分の希望に合わせて働くことは人生にとってプラスになると思います。

働き方いろいろ、いきいきライフ

現在、津奈木町では約 30 人の会員が元気に活躍しています。

シルバー人材センターを通じて津奈木・水俣地域で仕事をされている皆さんに、仕事のやりがいなどを伺いました。

仕事中の会話で 新しい発見がある

知り合いの紹介で4年前に入会しました。今までに行った仕事はいろいろありますが、現在は不法投棄のパトロールを主に担当しています。他にも不用品の回収や草刈りも行っていて、一生懸命仕事をした後で、すぐきれいになったのを見ると達成感があります。

この仕事を始めてから、いろんな人とお話する機会が増えました。自分の知らないことを学ぶことができ、楽しく仕事をしています。サービスを通して利用者に喜んでもらい、元気になってもらうことに一番やりがいを感じます。また、私自身も利用者の皆さんから元気をもらっています。



真野 成一 さん
(大泊)

INTERVIEW

生きがいと地域のニーズを結びます



(公社) 水俣・津奈木
シルバー人材センター
松山 勝征 事務局長

シルバー人材センターは、皆さんの困りごとを手助けすること、高齢者の生きがいづくり、地域社会の活性化に貢献していくための組織です。町民同士で助け合うための仕組みを「仕事」という形で作ることができれば、津奈木町はもっと暮らしやすい町になると思います。

高齢化が進み、会員が減ってきており、繁忙期には一部の依頼を断らざるを得ない状況です。会員の中には健康維持のために入会し、生きがいある充実した生活につながっているとの声もあります。これからも、地域の困りごとを解決する方法の一つとして、センターの活動を広げていきたいです。